

春日台だより 第42号

令和7年1月8日

綾瀬市立春日台中学校

校長 吉田 勉

～学校教育目標～

すすんで学ぶ人 こころ からだ 精神と身体の健康な人 責任を重んじる人 心豊かであたたかい人

3学期始業式での校長先生のお話を掲載します。

『やってみる』



皆さん、新年明けましておめでとうございます。

今年も、どうぞよろしく願いいたします。

冬休みには、ゆっくりと過ごすことができましたか？ 長かった2学期の疲れをとることができましたか？

少しでも、ホッとしてリラックスできる時間を過ごせたのならば、よい冬休みになったのかなと思います。

さて、2学期の終業式では、「新しい一年を迎えるお正月には、今年は何を頑張りたいか、どんなことが出来るようになりたいか、何に挑戦（チャレンジ）しようか、どんな自分になりたいか、必ず『思う』ようにしてみてください。」という話をしました。大事なことは、『思う』ことでしたよね。具体的に、何か今年の目標を立てましたか？

もし、まだ立てていないという人は、今からでも遅くありませんから、目標を思ってみてください。

目標を立てたら、次に、目標どおりにできた自分の姿を思ってみましょう。ここでも大事なことは、『思う』こと。

ここからの話は、昨年度の3学期始業式でも話した内容なので、2年生・3年生の中には覚えている人もいます。

私は、何か目標を立てたときには、必ず、その目標どおりにできたときの自分の姿を『思う』ようにしています。そうすると、なんだか目標どおりにできそうな気持ちになって、やる気が湧いてくるのです。

でも、やる気だけではダメですよね。大切なことは実行すること。目標に向かって『やってみる』ことです。出来るか出来ないかを考えるのではなく、まずは『やってみる』こと。

やってみて、うまく出来そうなら、それを続けていけばいいですよ。

もし、うまく出来なかったら、失敗してしまったら、やりかたを変えて、また『やってみる』。

あきらめずに、目標どおりうまく出来た時の自分の姿や気持ちを思いうかべてみる。そうすると、また、やる気が湧いてくるはずですよ。

きょうから3学期が始まります。短い3学期ですが、なりたい自分の姿を『思う』こと。そして『やってみる』こと。チャレンジすることを続けて、令和7年度に向けてしっかりと頑張ってください。私は、いつでも皆さんを応援しています。